

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成21年11月25日

化学物質等のコード : 0328-5350

化学物質等の名称 : 塩化クロム()溶液

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 有害性物質
危険性 : 可燃性、発火性なし。
有害性 : 飲み込んだり、吸入したり、あるいは皮膚に付着すると有害の可能性がある。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物(塩化クロム()六水和物の水溶液)
化学名 : 塩化クロム()六水和物
成分及び含有量 : $\text{CrCl}_3 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ 50%
化学式または構造式 : $\text{CrCl}_3 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$
分子量 : 266.45
官報公示整理番号(化審法) : 1-208
構造別分類コード(労安法) :
CAS No. : 10060-12-5
EINECS No. : 2330383
RTECS No. : GB5450000

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
皮膚にふれた場合 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とし、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 大量の水を飲ませて速やかに吐かせる。必要な場合は医師の診断を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 ・火元への燃焼源を断つ。
・初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
・大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は、火災を拡大して危険な場合がある。
消火剤 粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂

6.漏出時の措置

作業の際には保護具を着用し、掃き取る、真空で吸い取るなど、できるだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。この際、風下では作業しない。
処理方法は、希釈したアルカリ剤(苛性ソーダ、炭酸ソーダ)で中和した後廃棄する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散させないようにする。
保管上の注意
密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない、(Crとして0.05mg/m³)
許容濃度 日本産業衛生学会 0.5 mg/m³(クロムの2価,3価化合物,Crとして)
ACGIH TWA 0.5 mg/m³(Crとして)
設備対策
・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する
保護具
・状況に応じ、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、空気呼吸器等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観形状特性 青紫色の溶液
比重、嵩比重 1.73
沸点 1200～1500 (分解)
溶解度 データなし
溶解性 水、アルコールに可溶
蒸気圧 データなし
蒸気密度 データなし
密度 データなし
屈折率 データなし
揮発性 データなし
臭気 データなし
初留点 データなし
昇華性 データなし
粘度 データなし
pH値 データなし
その他
分解温度 データなし

10. 安定性及び反応性

引火点 データなし
可燃性 あり
安定性・反応性 通常の取扱いにおいて安定
発火性 なし
発火性(自然発火性・水との反応性) なし
自己反応性 なし
爆発性 なし
酸化性 データなし
分解性 データなし
加熱・燃焼 データなし
混触等 データなし
水との接触 データなし
空気との接触 データなし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性
急性毒性 LD50(経口)ラット 1,870 mg/kg
(CrCl₃・6H₂Oとして)
亜急性毒性 データなし
慢性毒性 データなし
刺激性(皮膚、眼) : データなし
感受性 : データなし
変異原性 : データなし
変異原性(微生物、染色体異常): データなし
皮膚腐蝕性 : データなし
がん原性 : データなし
生殖毒性 : データなし
催奇形性 : データなし
安全管理上の留意事項 : データなし
その他 : データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)
: データなし

12. 環境影響情報

分解性 : データなし
蓄積性 : データなし
魚毒性 : データなし

13.廃棄上の注意

自ら廃棄する場合、少量ずつ焼却する(直火焼却)、又は中和スラッジ処理がよい。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷ぐずれ防止を確実にを行う。

該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制

陸上輸送 : データなし
海上輸送 : データなし
航空輸送 : データなし
国連分類番号 : クラス6.1(毒物) PG
国連番号 : 3287

15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法(PRTR): 第1種指定化学物質No.87(旧PRTR法 1-68)

労働安全衛生法 : 施行令等の一部改定第18の2別表
第9「名称等を通知すべき有害物」 142

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

船舶安全法 : 非該当

航空法 : 非該当

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。